



データサイエンスは、大量のデータから意味のある情報を抽出し、問題解決や意思決定に活用する方法を研究する分野で、これを工学的に応用する分野をデータエンジニアリングと言います。AIは、機械が人間のように学習し、問題を解決したり意思決定を行ったりする技術です。これらの分野は、現代社会でデータ駆動型のアプローチが重要視される中で、幅広い産業や学術分野で活躍しています。信州大学工学部では、DSAI教育研究センターを立ち上げ、みなさんの本分野への学習をサポートしています。



助教 舘 伸幸

元は半導体メーカーで、開発支援環境の設計や、組込みソフトウェアの開発に取り組んでいました。車載に代表される高信頼性なソフトウェアの設計が専門領域です。

研究から広がる未来

データサイエンスは膨大な情報から洞察を導き出し、ビジネスや社会課題の解決に貢献します。健康管理や教育、環境保護にも役立ち、持続可能で効率的な社会の実現と生活の質の向上を可能にします。

私の学問へのきっかけ

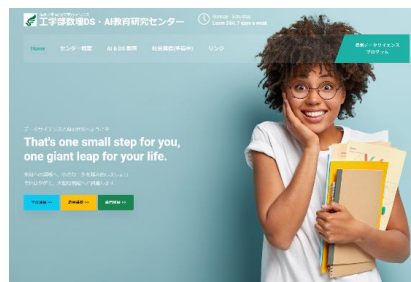
2012年開始の、文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成」への参画で、名古屋大学で工学教育の研究に従事したのが、本格的に教育工学にとりくむきっかけでした。同時期に、信州大学工学部の香山瑞恵教授に初学者の学習教材への取り組みについてご指導を賜り、現在も継続しています。

卒業後の未来像

データの取り扱いに精通すれば、どのような職業に就いても間違いなく役立ちます。データサイエンスの知見やAIを、よき友として明るい未来を目指しましょう。



工学部のDSAI教育研究センターは、工学部W1棟にあります。



DSAI教育研究センターのWebページです。URLは、こちら
<https://www.Shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/MDASH/dsaier/>



研究キーワード

データサイエンス・データエンジニアリング・AI

研究シーズ

- データサイエンス学習方法
- 企業活動へのデータサイエンスの応用活用
- IoT理科, MDD教育に関する研究

最近の研究トピックス

- 文部科学省 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 応用基礎レベル（学部学科単位）認定
- データサイエンス/AIコア科目必須化に伴う教材開発
- 長野市立高校DXハイスクール授業カリキュラム開発&授業試行
- 長野市向けデータサイエンス入門ビデオ教材作成

共同研究・外部資金獲得実績

- STEAM教育を支援するIoT型教授学習環境を実現する学習技術
- 地域産業に貢献する実践力を育成する継続可能な工学教育フレームワークの提案
- 情報科学の基礎概念理解向け“万人のための情報学”指向なIoT学習パッケージの開発
- カシオ科学振興財団研究助成